

「瑞穂通商店街振興組合」の取組

博物館前商店街新聞・名古屋グランパスとの提携



あらゆる世代への情報発信で、「風通しの良い」商店街へ。



グランパス選手によるサイン会

❖取組を開始したきっかけ

瑞穂通商店街の周辺には、名古屋市博物館・名古屋市立大学・名古屋市立大学病院が構えており、さらに高校が複数点在する市内有数の文教地区となっている。当商店街は、ランドマークとなる博物館を中心に名古屋環状線沿いを南北に広がる約40店舗で構成されており、地元住民はもとより、博物館の来館者にも利用される。

そのような立地にある当商店街では、恒例の8月第1週の土日に開催される「博物館茶屋」(夏祭り)をはじめとし、これまで季節に応じて様々なイベント(コンサート、マラソンフェスティバル、演芸会、チャリティ餅つき大会、年末大売り出し等)が実施されてきた。そして、その多数あるイベントを、より多くの人に知ってもらうことと、近隣住民に商店街への親しみを持ってもらう狙いを兼ねて、平成元年より情報誌である「博物館前商店街新聞」の発行を開始した。

さらに、当商店街は名古屋グランパスエイトのホームグラウンドである瑞穂競技場のお膝元でも

あるため、愛知県商店街振興組合連合会より、グランパスのサポートタウンとして盛り上げてみてはどうかとの提案を受けて、現在、当商店街はグランパスと連携した活動を行っている。



博物館茶屋の様子

取組

博物館前商店街新聞



情報発信

取組の概要 >>>>

瑞穂通商店街では、定期的に情報誌を発行している。その名も「博物館前商店街新聞」だ。当新聞は平成元年の初刊行から、毎月1回、一度の休刊も無く発行されており、間もなく300号に達する。配布が行われている場所は、主に区役所や警察署・消防署・小学校等である。新聞の内容は、イベントの告知や結果報告、地域の情報で、それらを商店街と住民が共有化する事で、風通しの良い商店街を目指している。

また、この他に商店街マップも発行しており、マップには各店舗の詳細情報に加え年間恒例行事や地域情報がコンパクトに掲載されている。

▲商店街MAP(左側)と
▶博物館前新聞(右側)

瑞穂通商店街の特徴であり、心掛けていることは、「風通しの良さ」だ。商店街という小さな括りの中だけに収まらずに、あらゆる世代の人々に向かって情報を発信し、他の団体と協働でイベントをする事に力を入れるなど、時代に合った賑わいづくりを実践している。また、情報の発信方法として、「博物館前商店街新聞」だけでなく、コンテンツの多いホームページを開設しているほか、twitterのアカウントをも保有している。

取組

名古屋グランパスとの提携



連携・協働

取組の概要 >>>>

瑞穂通商店街は、「名古屋グランパスサポートタウン」として活動中だ。グランパスが試合に勝った日の翌日に「グランパス勝ったね。」と店頭で告げるとサービスを受けられる「グランパス勝ち店」が当商店街内に27店舗存在している。

また、冬にはグランパス一のイケメンを決めるイベント「イケメンオブザイヤー」を開催している。グランパスファンの女性のみが投票でき、毎年500人近くが投票を行っている。なお、その結果は「博物館前商店街新聞」で発表される。他にも、グランパスの選手をゲストとして商店街に呼び、サイン会やグッズ販売等も実施している。



選手が市場にきた様子

❖取組の効果・課題等

瑞穂通商店街で行われている活動は、長い期間にわたり継続されているものが多い。例えば、「博物館前商店街新聞」は発刊から20年以上にもなり、盆踊り大会やそれと同時に夜店「博物館茶屋」も約20年前から行われている。これは、地域に密着した商店街として、地域住民に広く認知され愛着を持たれている証だろう。

このような活動等が評価され、平成18年度に当商店街は名古屋市商店街振興組合連合会から「地域貢献賞」

の大賞を受賞し、さらに平成19年度には、愛知県の「ブランド商店街」に認定された。

ところで、当商店街の多数あるイベントのうち、多くが子ども向けである。商店街のキャッチフレーズも「子どもの笑顔あふれる博物館前商店街」となっており、そこにはイベントに参加した子どもたちが親になったとき、自分の子どもを連れて、再び商店街を訪れてほしいという思いが込められている。

商店街DATA

瑞穂通商店街振興組合

<http://www.aiweb.or.jp/mizuho/>

所在地 ● 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-1-8 アクセス ● 地下鉄桜山駅 4・5番出口すぐ 設立年月日 ● 昭和38年4月1日
組合員数 ● 43名 代表者 ● 大野 勝蔵 TEL ● (052)841-6662 メールアドレス ● unioak-katu@kdm.jrnet.ne.jp